

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江口 達夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長

(氏名) 福田 弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,304	60.5	391	30.4	416	15.3	225	0.1
21年3月期第1四半期	3,305	—	300	—	361	—	225	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	8.32	—
21年3月期第1四半期	8.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	18,021	11,111	61.7	419.21
21年3月期	18,377	11,241	60.8	408.47

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,111百万円 21年3月期 11,175百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00 ～10.00	8.00 ～10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,000	28.5	650	2.3	700	0.6	450	51.0	16.58
通期	18,000	3.8	1,000	△0.5	1,100	0.8	650	70.0	23.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 29,748,200株 21年3月期 29,748,200株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,241,868株 21年3月期 2,388,841株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 27,145,055株 21年3月期第1四半期 27,281,379株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年後半からの世界的な金融危機に端を発した急速な景気後退から最悪期を脱し、底入れの兆しが見え出しましたが、本格的な回復には至らず先行きの不透明感を抱えたまま推移いたしました。

この様な環境下、当社グループは、引き続き食品会社として相応しい工場環境創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高5,304百万円（前年同期比60.5%増）、営業利益391百万円（同30.4%増）、経常利益416百万円（同15.3%増）となり、四半期純利益は前年同期並みの225百万円（同0.1%増）を確保することが出来ました。

なお、前年同期の連結業績には、昨年5月に株式を取得したユニテックフーズ㈱の業績は含まれておりません。同社の前期業績は、前第2四半期連結会計期間より連結をいたしております。

事業の種類別セグメントの状況は以下の通りであります。

(1) 精糖事業

精糖事業の売上高は3,032百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益295百万円（同27.3%増）となりました。厳しい経済環境下、販売数量は前年同期並みを確保するとともに、燃料費コスト等の低減や原料の有利調達に努めた結果、増収増益となりました。

(2) 機能性素材事業

機能性素材事業の売上高は1,430百万円（前年同期比541.1%増）、営業利益11百万円（前年同期 営業損失21百万円）となりました。厳しい経済環境下、既存の部門は苦戦したものの、当第1四半期連結会計期間において、前年同期には連結されなかったユニテックフーズ㈱の業績を連結した結果、大幅な増収及び営業利益の計上となりました。

(3) 不動産事業

不動産事業の売上高は840百万円（前年同期比409.9%増）、営業利益141百万円（同3.2%減）となりました。マンション分譲事業の売上により大幅な増収となっておりますが、不動産市況の悪化のなか、期待した利益を確保することが出来ませんでした。しかしながら既存の賃貸事業が堅調に推移した結果、前年同期並みの営業利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し18,021百万円となりました。各項目における状況は次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ7.8%減少し7,415百万円となりました。これは主に販売用不動産の減少、原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.6%増加し10,605百万円となりました。これは主に、子会社株式追加取得によるのれんの計上、時価上昇による投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ7.7%減少し3,891百万円となりました。これは主に預り金の減少、賞与引当金の減少等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3.3%増加し3,017百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.2%減少し11,111百万円となりました。これは主に、自己株式の取得によるもの等であります。

(2) キャッシュ・フローの分析

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、2,357百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、471百万円（前年同期244百万円支出）となりました。これは主として、たな卸資産が増加から減少に転じたことや、その他の流動資産が増加から減少に転じたこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、237百万円（前年同期比81.8%減）となりました。これは主として、子会社株式取得による支出の減少や投資有価証券の売却収入の減少等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、189百万円（前年同期726百万円収入）となりました。これは主として、自己株式取得による支出や短期借入金の減少等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、ほぼ計画通り推移しました。よって、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、前回発表（平成21年5月14日）に修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（棚卸資産の評価方法）

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,048,126	1,994,607
受取手形及び売掛金	1,799,103	1,581,575
有価証券	322,014	322,004
商品及び製品	1,445,058	1,372,187
仕掛品	87,751	96,720
原材料及び貯蔵品	708,691	838,445
その他	1,008,962	1,840,903
貸倒引当金	△3,997	△3,425
流動資産合計	7,415,711	8,043,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	736,184	749,545
機械装置及び運搬具(純額)	192,357	197,955
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	52,873	56,181
有形固定資産合計	3,030,251	3,052,517
無形固定資産		
のれん	1,198,746	1,092,626
その他	74,117	77,838
無形固定資産合計	1,272,864	1,170,464
投資その他の資産		
投資有価証券	4,299,107	4,030,391
その他	2,107,752	2,140,070
貸倒引当金	△104,354	△58,883
投資その他の資産合計	6,302,505	6,111,577
固定資産合計	10,605,622	10,334,559
資産合計	18,021,333	18,377,578

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,226,538	1,193,699
短期借入金	1,538,364	1,349,996
未払法人税等	135,588	3,232
賞与引当金	51,704	106,430
役員賞与引当金	2,550	10,100
その他	936,885	1,551,702
流動負債合計	3,891,631	4,215,159
固定負債		
長期借入金	1,775,386	1,675,054
退職給付引当金	564,609	574,943
役員退職慰労引当金	114,678	107,798
持分法適用に伴う負債	120,411	120,411
その他	442,816	442,915
固定負債合計	3,017,901	2,921,123
負債合計	6,909,532	7,136,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,508,451	2,508,451
利益剰余金	7,647,546	7,667,986
自己株式	△793,926	△561,928
株主資本合計	10,886,532	11,138,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	231,988	42,314
繰延ヘッジ損益	△6,720	△5,736
評価・換算差額等合計	225,267	36,578
少数株主持分	—	65,748
純資産合計	11,111,800	11,241,296
負債純資産合計	18,021,333	18,377,578

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,305,534	5,304,030
売上原価	2,432,522	4,134,080
売上総利益	873,012	1,169,950
販売費及び一般管理費	572,575	778,074
営業利益	300,437	391,875
営業外収益		
受取利息	13,122	13,396
受取配当金	31,130	20,280
持分法による投資利益	29,290	14,048
その他	2,858	5,045
営業外収益合計	76,400	52,770
営業外費用		
支払利息	5,857	13,152
匿名組合投資損失	9,096	11,406
その他	361	3,306
営業外費用合計	15,315	27,865
経常利益	361,522	416,780
特別利益		
固定資産売却益	—	484
投資有価証券売却益	5,183	—
その他	26	65
特別利益合計	5,210	549
特別損失		
減損損失	3,652	2,019
投資有価証券評価損	69,989	12,095
貸倒引当金繰入額	—	45,335
その他	1,312	238
特別損失合計	74,954	59,689
税金等調整前四半期純利益	291,777	357,641
法人税、住民税及び事業税	60,982	137,530
法人税等調整額	5,147	△12,393
法人税等合計	66,130	125,136
少数株主利益	—	6,710
四半期純利益	225,647	225,794

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291,777	357,641
減価償却費	34,007	35,441
のれん償却額	—	24,280
減損損失	3,652	2,019
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40,659	△54,725
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,680	△7,550
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△46,280	46,043
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,222	△10,334
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,050	6,880
受取利息及び受取配当金	△44,252	△33,676
支払利息	5,857	13,152
持分法による投資損益 (△は益)	△29,290	△14,048
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,183	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	69,989	12,095
売上債権の増減額 (△は増加)	37,852	△217,528
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△202,643	715,250
預け金の純増 (△) 減	△222,652	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,754	358,742
仕入債務の増減額 (△は減少)	82,730	32,839
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	35,842	△767,029
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	221	△98
その他	56,775	△70,402
小計	△12,961	428,991
利息及び配当金の受取額	79,844	54,702
利息の支払額	△4,923	△5,079
法人税等の支払額	△306,071	△7,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244,112	471,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,849	△36,726
有形固定資産の売却による収入	100	2,000
投資有価証券の取得による支出	△81,311	△300
投資有価証券の売却による収入	85,283	—
無形固定資産の取得による支出	△10,733	△450
長期貸付金の回収による収入	808	408
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,282,345	—
子会社株式の取得による支出	—	△202,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,310,048	△237,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000,000	130,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	—	△41,300
自己株式の取得による支出	△1,509	△231,997
自己株式の売却による収入	421	—
配当金の支払額	△272,828	△246,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	726,083	△189,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△241	△325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△828,317	43,528
現金及び現金同等物の期首残高	1,790,154	2,313,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	961,836	2,357,141

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,917,510	223,158	164,866	3,305,534	—	3,305,534
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	112	277	390	(390)	—
計	2,917,510	223,270	165,143	3,305,924	(390)	3,305,534
営業利益又は 営業損失(△)	232,452	△ 21,517	145,962	356,897	(56,460)	300,437

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
2 各事業の主要な製品または業務
(1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜
(2) 機能性素材…………… 食品添加物、イヌリン及び切花活力剤
(3) 不動産…………… 不動産賃貸等
3 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用(56,460千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。
4 当第1四半期連結会計期間にユニテックフーズ株式会社を子会社化したことに伴い、機能性素材事業において資産の額が2,359百万円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,032,847	1,430,610	840,572	5,304,030	—	5,304,030
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	277	316	(316)	—
計	3,032,847	1,430,649	840,849	5,304,347	(316)	5,304,030
営業利益	295,834	11,933	141,341	449,109	(57,233)	391,875

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
2 各事業の主要な製品または業務
(1) 精糖…………… 精製糖、液糖及び糖蜜
(2) 機能性素材…………… 食品添加物、切花活力剤、イヌリン等の機能性食品素材
及びペクチン等の天然添加物素材
(3) 不動産…………… 不動産賃貸等
3 営業費用のうち、消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用(57,233千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。